

公益社団法人日本建築家協会 (JIA)  
関東甲信越支部 住宅部会

2025 年度 住宅部会総会 次第

\*

会場：JIA 建築家クラブ(ZOOM 同時配信)  
2025 年 4 月 16 日 (水) 18:00～20:30  
司会：慶野正司 議長：河辺近

---

1. JIA 住宅部会 2025 年度総会 18：00～18：30
  - 1) 第 1 号議案 2024 年度活動報告
  - 2) 第 2 号議案 2024 年度収支決算
  - 3) 第 3 号議案 住宅部会規則改訂
  - 4) 第 4 号議案 2025 年度正副部会長、事務局メンバー選任
  - 5) 報告事項
    - ・2025 年度 活動方針
    - ・2025 年度 収支予算
  
2. 第 7 回住宅部会賞 10 宅選 住宅部会賞 作品レビュー  
18：45～20：30
  - 1) 作品レビュー／受賞プレゼンテーション
  - 2) 総括



## 【第1号議案】 住宅部会 2024年度 活動報告

第45代住宅部会長 河辺 近

2024年度のテーマは「私の暮らし」としました。高齢化社会、多様性、家族のかたち、シェア、環境、住まいを考える上で様々な言葉に囲まれています。最近では能登半島大震災をはじめ多くの災害、天災、ウイルスの蔓延、SDGsの普及で自分の暮らす街や住まい方、多くの人々との関わりに関心を寄せていると感じます。そこで、暮らすということについて意見交換や勉強会などを行いたいと考えました。毎年行われている住宅部会賞の発表を公共の場で行い、受賞作品訪問をはじめ住まいの見学を通しての体験型交流や、実務の場で培われた部会員のノウハウを共有する学びの機会も設けて参りました。

毎月第一木曜日を活動日とし、活動会議、見学会、勉強会や、住宅部会賞の開催、また親睦を深める忘年会などを行いました。部会長として慣れな部会運営でしたが、多くの皆様に支えていただき、また企画に対して多くのフィードバックを頂けたことは何よりのモチベーションとなりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。来年度50周年のよりアクティブな活動へとつなげることが出来たら幸いです。

### ■運営について

#### 住宅部会の日（勉強会、作品レビュー、見学会、講演会、納会など）

原則毎月1回、部会活動の日時と場所を設け、主に会員相互の研鑽、情報交換や交流を目的とした企画を開催しました。2024年度は原則「毎月第2木曜日」を活動の日とし、その他適宜イベントに応じた曜日や日時を設定しました。

#### □第1回 住宅部会の日＜4月18日（木）＞

総会・住宅部会賞2023受賞者レビュー・建築家クラブ+ZOOM  
・住宅部会賞2023 受賞者作品レビュー  
受賞者によるレビューを会場とZOOMを用いたプレゼンが行われた。

#### □第2回 住宅部会の日＜5月15日（水）＞ 25名参加

担当：河辺近：久保田恵子 建築家クラブ 勉強会  
2025年4月から始まる「建築基準法・建築物省エネ改正法制度セミナー」講師を招いて行った。  
まだ来年と考えていた人も真剣に話を聞いて改めて学んだ。

#### □第3回 住宅部会の日＜6月20日（木）＞ 26名参加

担当：河辺近：関本竜太：宮島亨 建築家クラブ 緑について考える セミナー  
「まちと家の『あいだ』」と題し 伊礼智さんをお迎えしてセミナーを行った。  
セミナー後 会場からの色々な質問に楽しくお答え頂き有意義なセミナー・勉強会となった。

□第4回 住宅部会の日<7月20日(土)> 22名参加

担当：久保田恵子：大島碧：後藤武 見学会・暑気払い

住宅部会賞を受賞された北鎌倉にある「多重の家」を見学。

2チームに分かれ建物を見学 2つの世帯を一つの敷地の中に計画 地域の中で閉じずに開いて生活することを試みている その後敷地内で懇親会 自由な意見交換が飛び交っていた。

□第5回 住宅部会の日<9月14日(土)> 23名参加

建築見学会&レクチャー 担当：川原聡史：慶野正司

再生建築の2ヶ所の建物を見学 その後設計者よりレクチャー 法律、構造、設備、資金など多くの質問がなされた これからの建築家がやるべき仕事なのかもしれない

□第6回 住宅部会の日<10月16日(水)> 16名参加

会議 建築家クラブ+ZOOM 担当：河辺近・久保田恵子

後半の勉強会、イベントなどの詳細について打合せ。

□第7回 住宅部会の日<11月7日(木)> 30名参加

見学会 担当：松永基：蔵楽友美

江之浦測候所の見学 設計者である 榊田倫之さんに現地の案内を頂き

その後近くの建物でセミナーを行い懇親会 設計監理：株式会社新素材研究所

□第8回 住宅部会の日<12月19日(木)> 32人参加

横浜街歩き・忘年会 担当：河辺近・久保田恵子

馬車道駅から横浜市役所―赤煉瓦倉庫―象の鼻パーク―山下公園―中華街

毎年行われている街の照明イベントなども行われており 昼間とは違う夜の港街を散策

中華街の隠れた穴場で忘年会 楽しく美味しい時間となった。

□第9回 住宅部会の日<1月16日(水)> 18名参加

建築家クラブ クロストーク テーマ「お金の話をしよう」 担当：関本竜太：河辺近

年齢の幅広いメンバーが集まった 事務所の経営の事 昨今の工事費の値上がりまた契約書の話など

一つのテーブルの周りに集まりクロストークが行われた 歴史の長い住宅部会の奥の深さを感じたイベントとなった。

□第10回 住宅部会の日<2月27日(水)> 10名参加・28名参加

活動会議・建築家クラブ その後住宅部会賞プレゼンオンライン配信

担当：部会賞WG 司会・進行：慶野正司・中村高淑

「第7回住宅部会賞10宅選」住宅部会賞2024 公開選考会（応募案：22作品）

選考方法：オンライン公開選考会にて応募者によるプレゼンテーション

（任意・1人2分以内/代読や動画も可）を経て、住宅部会員による投票（部会員各自2票、および選考委員

各5票）による得票数にて選出、3作品は選考委員推薦の個人賞とする、会員内外より計22案の力作が提出

され、各自5分の持ち時間の中でプレゼンテーションが行われました。今年は会員外からの応募が12案あり、改修の可能

を探る作品、繋がり・循環など色々な切り口の応募がありました。

□第11回 住宅部会の日<3月19日(水)>

住宅部会賞・建築家クラブ+zoom オンライン配信 (OWL) | 31人参加 |

担当：部会賞WG 司会・進行：慶野正司・中村高淑

選考委員長:河辺近/住宅部会長 (第45代)

選考委員 :室伏次郎/日本建築家協会・元副会長、住宅部会員

選考委員:今井 均/日本建築家協会・第19代住宅部会長

納会・住宅部会賞2024 選考結果発表・授賞式<受賞者> (敬称略)

岡崎 絢(新)+金沢 将(新) / 見立ての家

池田 隆志(新) / 金閣寺東の町家

小山 光/Hayama Huts

蔵楽 友美 / 「広尾の家」リノベーション

丹羽 修/八角の家

渡邊 明弘(新)/Harport Suginami Sud|永福町大博マンション再生

10宅選+河辺近住宅部会長賞 久保田 恵子 + 新井 かおり/循環を考える渡邊邸改修 Project

10宅選+室伏次郎賞 五十嵐 理人(新)/家の躯体

10宅選+今井均賞 中村 高淑/美しが丘西の家

※2024年度の活動一覧は次項を参照ください。

以上

## 2024年度住宅部会年間スケジュール

	日程	曜日	名称	形式/参加範囲	時間	内容	
5月	5月15日	水	基準法・省エネ法改正セミナー	クラブ/部会員・研究会員	18時/21時	基準法・省エネ法改正法制度	BX-TOSHO 伊藤勉さん
6月	6月20日	木	まちと家の『あいだ』セミナー	オンライン&クラブ/一般	18時/20時	緑、庭、植栽	伊礼智さん
7月	7月20日	土	多重の家 見学会&暑気払い	見学会/部会員・研究会	14時/19時	部会賞住宅見学	大島碧
8月	8月		お休み				
9月	9月14日	土	再生建築 見学会	見学会/部会員・研究会員	14時/21時	再生建築2ヶ所見学会	渡辺さん・今野さん 講師
10月	10月16日	水	会議	A会議室/部会員	18時/20時	今後のイベントについて	
11月	11月7日	木	江之浦測候所 見学会	見学会/部会員・研究会員	日中	見学会	榑田さん講師
12月	12月19日	木	横浜まち歩き・忘年会	中華街/部会員・研究会員	15時/21時	横浜街歩き・中華街店舗	街歩き 河辺・中村 進行 伊波
1月	2025/1月16日	水	クロストーク	クラブ/部会員・研究会員	18時/21時	お金の話をしよう	進行 関本
2月	2月27日	水	住宅部会賞プレゼン	クラブ/部会員・研究会員	18時/21時	プレゼン	進行 慶野
3月	3月19日	水	納会/部会賞受賞者発表、懇親会	クラブ/部会員・研究会員	18時/20時	納会	
4月	4月16日	水	/総会・部会賞作品レビュー	クラブ/部会員・研究会員	18時/21時		

# 【第2号議案】JIA住宅部会 2024年度決算報告書

(2024.04～2025.03) 2025年3月31日現在

公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部 住宅部会

2024年度・第45代・部会長 河辺 近

収入の部	1	活動費2023年度分	(正・協) 5名 半期 名 (研) 2名	¥8,500
	2	活動費2024年度分	(正・協) 33名 半期 1名 (研) 18名	¥221,500
	3	活動費2025年度分 (前納)	(正・協) 29名 (研) 19名	¥202,000
		活動費2026年度分 (前期)	(正・協) 1名 (研) 1名	¥8,000
	4	7月部会の日見学会・懇親会	参加費徴収 20名	¥47,574
	5	9月部会の日見学会	参加費徴収 19名 1000円	¥19,000
	6	11月部会の日見学会	参加費徴収 29名→18名	¥222,000
	7	12月部会の日・忘年会	参加費徴収 30名 6000円	¥180,000
	8	3月忘年会・納会	参加費徴収 33名 2000円	¥66,000
	9	寄付金	青木さん、有田さん、余剰金	¥29,579
	10	利息雑収入	利息241001	¥208
		<b>収入合計</b>		<b>¥1,004,361</b>
	1	4月弔電・弔花 (加藤將己氏)		¥22,594
	2	5月部会の日 (伊藤勉氏)	講師謝礼	¥22,220
	3	6月事前打合せ・当日	手土産	¥4,288
	4	6月部会の日セミナー	講師謝礼 (伊礼智氏)	¥22,220
	5	同上	懇親会費補助	¥10,055
	6	7月部会の日見学会	懇親会費補助	¥51,933
	7	9月弔電・弔花 (渡辺武信氏)		¥22,220
	8	9月部会の日見学会	講師謝礼 (今野広大氏・渡邊明弘氏)	¥42,194
	9	同上	保険代立替 (損保保険ジャパン)	¥1,460
	10	同上セミナー会場等		¥15,620
	11	10月事前打合せ	手土産	¥1,350
	12	11月部会の日見学会江之浦測候所	講師謝礼 (榊田の倫之氏)	¥19,854
	13	同上会場費		¥96,840
	14	同上	保険代立替 (損保保険ジャパン)	¥2,020
	15	同上	イヤフォンレンタル	¥33,770
	16	同上セミナー会場費	懇親会費補助	¥143,880
	17	12月部会の日 (忘年会)	店舗支払い+忘年会費補助	¥200,360
	18	結婚祝い	花 (川原聡史氏)	¥3,660
	19	1月部会の日	懇親会補助	¥5,327
	20	3月部会の日 (納会)	建築家クラブ懇親会費	¥60,780
	21	住宅部会賞2024	賞状・記念品など	¥101,413
	22	ZOOM 1年間契約		¥23,375
	23	総務経費	消耗品・手数料	¥0
	24	雑費	宅配便など	¥0
	25	税金	源泉徴収分入金 (JIA)	¥6,754
	26	WEB改修費240409	トップページスクリーン、システム更新	¥38,720
	27	災害ファンド積立金		¥50,000
	28	WEBサイト積立金		¥50,000
	29	50周年事業用積立金		¥100,000
		<b>支出計</b>		<b>¥1,152,907</b>

収 支	収入の部-支出の部		-148546
資産の部	前年度繰越金		¥1,591,968
(繰越金・積立金)	2024年度収支		¥-148,546
	2024年度災害ファンド積立金		¥50,000
	2024年度WEBサイト積立金		¥50,000
	2024年度50周年事業用積立金		¥100,000
	会計上上年度繰越金		¥1,643,422
積立金内訳	災害ファンド積立金	2023年度は ¥450,000	¥500,000
	WEBサイト積立金	2023年度は ¥250,000	¥300,000
	50周年事業用積立金	2023年度は ¥200,000	¥300,000
	積立金合計		¥1,100,000
	実質の次年度繰越金		¥643,422

2024 年度(公社)日本建築家協会関東甲信越支部住宅部会

監査報告書

2024 年度、(公社)日本建築家協会関東甲信越支部住宅部会の会計監査にあたり、  
収入支出に伴う関係書類及び関係帳簿・関係証票等を慎重に審査した結果、いずれも  
正確かつ適正であることを認めます。

2025 年 4 月 7 日

(公社)日本建築家協会 関東甲信越支部住宅部会

部会長 河辺 近 様

監 査 中 村 雅 子 印





## 【第3号議案】 住宅部会 規則改訂案

規則改訂の理由 2023年4月改訂時に、第6条（運営）について、「総会は構成員の3分の1の出席（委任状含む）をもって成立する。」と致しましたが、構成員にはJIA正会員ではない研究会員他も含まれ、支部総会など他JIA総会では議決権はJIA正会員のみに与えられている事からも、住宅部会の総会も準ずることが望ましいという理由から改訂いたします。  
なお、第9条（改正）も同様の理由にて改訂いたします。

(2004年7月制定、2005年4月、2011年2月、2014年9月、2023年4月改訂、2025年4月改訂案)

JIA住宅部会・規則	
第1条（名称）	この団体は「公益社団法人日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部住宅部会（略称：JIA住宅部会）」と称します。
第2条（所在地）	この団体を次の所在地に置きます。 〒150-0001 渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4階 TEL:03-3408-8291
第3条（目的）	「建築物」は、建築主だけでなく、社会にとっても大切な資産です。住宅部会は、公益社団法人日本建築家協会（JIA）の理念に基づき、市民に最も身近な建築である「住宅」を通して、美しく住みやすい街と持続可能な社会、創造性豊かな住文化の構築に寄与することを目的としています。
第4条（構成員）	1、住宅部会は、下記の人たちによって構成されます。 ◎住宅部会・名誉会員（以下、部会名誉会員） JIA 会員、または元会員で、住宅部会に多大な貢献をされ、部会で推薦・承認された方 ◎住宅部会・正会員（以下、部会正会員） JIA の正会員（正会員・フェロー会員）または名誉会員で、住宅部会に活動費を納入し登録した方 ◎住宅部会・協力会員（以下、部会協力会員） JIA の協力会員（法人協力会員・個人協力会員）で、住宅部会に活動費を納入し登録した方 ◎住宅部会・研究会員（以下、部会研究会員） JIA の準会員（専門／シニア／ジュニア/学生会員）、または JIA に所属していない個人で、住宅部会に活動費を納入し登録した方 2、この団体への加入または脱退については随時可能とします。
第5条（役員）	1、この団体は次の役員（事務局）を置きます。 部会長1名、副部会長2名、会計1名、名簿（ML）管理1名、CPD担当1名、広報担当（HP、FB、チラシ、JIA 支部・本部担当など）数名を基本とします。 2、毎年度「総会」を開催し、役員（事務局）の選任を行います。 3、部会正会員から、部会長1名、副部会長2名を、毎年12月末に部会で合議の上、選任します。 部会長の任期は、原則1年とします。副部会長は、1名を前部会長、1名は次期部会長とします。
第6条（運営）	1、総会は <b>構成員(変更) 住宅部会・正会員</b> の3分の1の出席（委任状含む）をもって成立する。 2、定時総会は年に1度、4月に行います。 3、総会にて、会計報告及び次年度の予算案、役員（事務局）の選任を行います。年度は4月1日から3月末日までとします。その議事は出席者の過半数の同意をもって決定します。 4、諸問題が発生した場合は、臨時会議を開催して審議を行い、その議事は出席者の合議によって決定します。
第7条（活動）	この団体の主な活動は以下のとおりとする。 1、活動の基本：（公益社団法人）日本建築家協会関東甲信越支部の部会であり、構成員による自主的で、営利を目的としない活動を行います。 2、部会の定期開催： 会議を中心とした「部会」は、年度ごとに、名称や開催日程を規定し、運営を行います。月1回の開催を基本とします。 3、ワーキンググループ（WG）： 建築に関わるテーマであれば、構成員が自由にワーキンググループ（WG）を立ち上げ、メンバーを募る事ができます。ただし部会の承認が必要です。 4、災害ボランティア活動支援： 住宅部会、及び住宅部会構成員による災害ボランティア活動を支援することを目的としてファンドを設け、災害ボランティア活動を行います。
第8条（財務）	1、活動に必要な資金は、構成員からの部会活動費を充てるものとします。 2、資金については会計が適正に管理を行い、四半期ごとに代表者及び上部組織である公益社団法人日本建築家協会に報告、閲覧を受けるものとします。
第9条（改正）	この規則は <b>構成員(変更) 住宅部会・正会員</b> の過半数の同意をもって改正することが出来ます。
第10条（設立年月日）	本会の設立年月日は1975年9月12日とします。
第11条（規則施行日）	本規則は <b>(変更) 2025年4月17日より施行します。（2025年4月改訂）</b>

## 【第4号議案】

### 住宅部会 2025年度 正副代表及び事務局メンバー選任の件（敬称略）

公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 住宅部会  
2025年度・第46代・代表予定者 慶野正司

【代表】 慶野正司

【副代表】 河辺 近、小山 光

【会計】 関本竜太、本杉一磨（研）

【名簿管理】 飯沼竹一

【ML管理】 宮島亨

【総務】

[ZOOM 予約・管理担当] : 蔵楽友美

[CPD 申請・報告担当] : 中村雅子

[Google フォーム作成 (申込み・アンケート)担当] : 鹿志村弥生（研）、関本竜太

[ZOOM アドレス通知 + 入室管理(ホスト)] : 慶野正司、小山 光、河辺 近

【広報】 (イベント告知ほか | 部会 WEB サイト・FB 投稿)

: 佐久間達也、小山 光、飯山理帆（研）

【記録】 (イベント記録 | ZOOM 録画、編集、YOUTUBE)

: 中村高淑、伊波サチヨ

(事務局アドバイザー : 中澤克秀)

## 【ワーキンググループ (WG)】

[50周年事業 WG] : 中澤克秀、中村雅子（事業内容によって増員）

[住宅部会賞 WG] : 小山 光（主査）、中村高淑、甘利智明（研）

[研修旅行WG] : 関本竜太

[スタジオWG] : 中澤克秀、小山 光

[安全防災WG] : 郡山貞子

[福祉住宅WG] : 久保田恵子

[子ども WG] : 市村宏文、宮島亨、中澤克秀

[会友 WG] : 中澤克秀、大川直治、飯沼竹一、宮島亨、米田雅夫

[住宅設計の実務スタディー・グループ WG] : 宮島 亨（事務局担当）

## 【本部／支部 要請委員】

[住宅等連携会議] : 中村高淑、中村雅子、高橋隆博（WG）

[苦情対応委員会] : 郡山貞子、慶野正司

## 【報告事項1】 2025年度 活動方針（案）

公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 住宅部会

2025年度・第46代 部会長予定者 慶野正司

### 活動テーマ『住まう・にける想い』

今年は「住宅部会」の前身が1975年に発足して以来、50周年を迎える記念すべき年となります。言うまでもなくその間、多くの先輩建築家が多彩な設計活動を展開してこられました。時代の変遷と共に社会背景が移り変わりライフスタイルも大きく様変わりし、求められる住宅像が多様性を増してきたのは周知のことです。私たち建築家は、そうした時代に呼応した思慮のものと設計が求められることは自明ながら、一方では「人々が住まう」ということの深層には変わらぬ想いがあり、これからも大切にして設計活動に活かしていくことも建築家の使命であると考えます。

そのようなことから本年度の活動テーマを「住まう・にける想い」として、建築家それぞれの思想に思いを馳せつつ、これからの50年に向けて活動して参ります。

本年度の部会活動は、勉強会・見学会・座談会など研修系事業と住宅部会賞など恒例的事業に加え、50周年を機に多くの先輩方や若い建築家の活発な交流を促す事業を企画しています。また、私たち建築家の「家づくりにける想い」を広く社会に発信する機会づくりも検討しております。一年間、住宅部会員の研鑽とJIA建築家の社会的プレゼンスの高揚を目指して活動して参ります。

皆さま、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 【報告事項2】 住宅部会2025年度 収支予算(案)

(2025.04～2026.03) 2025年4月16日現在

公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部 住宅部会

2025年度・第46代・部会長（候補） 慶野正司

### ■活動会計

#### A.収入の部

1	活動費2025	85名	正48名+5名 研32名	¥361,000
2	活動費2025	前納分 48名	正29名 研19名	¥202,000
3	部会賞参加費	無料（2026年活動費前納のこと）		¥0
4	懇親会費	各種参加費徴収		¥0
5	50周年事業積立金から繰入			¥300,000
6	50周年事業参加費他			¥300,000
7	利息雑収入			¥0
<b>収入合計</b>				<b>¥1,163,000</b>

※会員2025年3/31現在 128名（正会員71名+協会員6名+研究会員51名）

※5名の正会員増として活動費収入に算入

#### B.支出の部

1	住宅部会賞	印刷・症状・記念品等	¥90,000	
2	部会の日イベント	講師謝礼・会場費・印刷費ほか	¥120,000	
3	50周年事業		¥600,000	
4	広報		¥90,000	
5	公益活動WG		¥10,000	
6	ZOOM通信費	年間契約	¥22,200	
7	懇親会費		¥0	
8	遠方交通費		¥20,000	
9	担当者交通費	イベント下見・打合せ交通費	¥10,000	
10	慶弔費		¥20,000	
11	諸経費	会議費・通信費・雑費	¥20,000	
12	予備費		¥60,800	
13	災害ファンド積立金	(2024年度は¥50,000)	¥50,000	
14	WEBサイト積立金	(2024年度は¥50,000)	¥50,000	
15	周年事業積立金	(2024年度は¥100,000)	¥0	
<b>支出合計</b>				<b>¥1,163,000</b>

**収支** A-B（収入の部-支出の部） **¥0**

### ■資産の部（繰越金・積立金）

○繰越金	前年度（2024年度）繰越金	(2024/3/31時点)	¥1,643,422
	今年度（2025年度）収支見込		¥0
	<b>次年度（2026年度）繰越金見込</b>		<b>¥1,643,422</b>

○積立金	災害ファンド積立金	(2024年度は¥500,000)	¥550,000
	WEBサイト積立金	(2024年度は¥300,000)	¥350,000
	50周年事業用積立金	(2024年度は¥300,000)活動会計に繰入	¥0
	<b>積立金合計</b>		<b>¥900,000</b>

**実質の次年度繰越金** **¥743,422**